第84回定期戦

多くの制限の中、工夫を凝らして2年ぶりに開催！

サッカー部

サッカーの一戦は、25分ハーフで、引き分けに終わった。水海道一高は3年生自身でメンバーを選考し、1―3―4―3でスタート。下妻一高は、1―4―4―2。前半は、下妻一高のSBが高い位置をとり、攻撃参加。押し込まれる時間帯が続いた。それでもセットプレーから好機を見出したが、互いに決定機を生かせず、お互い無得点。後半は、大きくメンバーを入れ替えた水海道一高がボール保持率を高め、GKとの1―1の好機も下妻一高校のGKがファインセーブ。後半アディショナルタイムには、下妻一高が水海道一高のDFとGKをかわして、ゴールに流し込むも、ポスト！雨風の中、試合は両チームとも50％近くのボール保持率をマーク。水海道一高も下妻一高も10本以上のシュートを放ったがゴールとはならなかった。

男子硬式テニス部

ダブルス3本の団体戦形式で実施。2―1で下妻一高に勝利することができた。ダブルス1とダブルス2は普段の実力を十分に発揮し、勝利することができた。ダブルス3は公式戦と同じ実力を出すことができず、接戦となり、タイブレークで惨敗となった。

女子硬式テニス部

ダブルス3本の団体戦形式で実施。3―0で下妻一高に勝利することができた。ダブルス1は公式戦でもペアを組む選手が実力を十分に発揮し勝利することができた、ダブルス2と3はサーブが入らないなど途中課題があったが、普段の練習の成果を出して勝利することができた。

男子ソフトテニス部

ダブルス3本の団体戦形式で実施。結果は残念ながら1―2で惜敗した。ダブルス1は両校の主将同士の対戦となったが、4―2で勝利。ダブルス2は対戦相手が格上のペアで2―4で敗れたものの、途中まで2―1でリードを奪うなど、予想以上に善戦した。ダブルス3は不調で普段の実力を全く出せずに0―4で敗れた。団体戦で敗れはしたが、接戦に持ち込み、よく健闘したと思う。

女子ソフトテニス部

ダブルス3本の団体戦形式で実施。2―1で勝利した。ダブルス1は4―2で勝利、ダブルス2も4―1で勝利。ダブルス3は0―4で敗れたが、団体カウント2―1で強豪校の下妻一高に勝利することができた。特に3年生がこれまでの普段の練習の成果を充分に発揮し、すばらしい試合をすることができた。試合に参加できなかった1・2年生の他の部員たちにも大きな自信と希望を与えられたのではないかと思う。

男子弓道部

戦績としては男子弓道部は団体戦1位、個人戦1位、3位と日々の成果が生かせたとても良い試合となりました。来年度も定期戦で下妻一高に勝利できるように、この定期戦で学んだことを糧とし精進していきたいと思います。

女子弓道部

本番は緊張して思うような弓道ができず、なかなか勢いに乗ることができませんでした。下妻一高の実力も高く、悔しくも負けてしまいました。しかし、勝敗が決まっても決して諦めない粘り強さを見せ、団体で2位3位に入ることができました。

野球部

野球部は5月5日、水海道球場にて下妻一高と定期戦を行いました。

5回まで両者譲らぬ0対0の投手戦となりました。しかし、グラウンド整備後の6回表、2死2塁から下妻一高に中前適時打で先制されると、7回8回にも守備が踏ん張れず失点し、結果0―4で下妻一高に敗れました。野球部は昨年に続く2年連続勝利とはなりませんでした。

陸上部

陸上部は5月1日、本校グラウンドにて男女100m×4、男女400m×4、1500mの三種目で行った。

結果として全種目で後塵を拝することになってしまったが、各選手日頃の練習の成果を発揮した。

男子バレーボール部

第1セットは、水海道一高の強みであるサーブと高さを発揮することができ、先にセットを取ることができました。第2セット以降は細かいミスが重なり下妻一高に逆転されてしまいました。

女子バレーボール部

【結果】

水海道一　0セット対2セット　下妻一

自分たちの力を出し切れず、結果は悔しいものとなりましたが、精一杯プレーし、試合は大変盛り上がりました。応援していただいた方々に深く感謝いたします。（主将）

卓球部　男子

下妻一高は県でも上位の学校で、ストレート負けすらあり得るような相手だったのですが、団体戦では2―3と負けてはしまいましたが勝利まであと一歩のところまでという大健闘だったと思います。

卓球部　女子

対戦相手の下妻一高とは、今まで練習試合等で勝利したことがなく、緊張や不安でいっぱいでしたが、定期戦では沢山の応援とチームの団結で３対１で初勝利することができました。

バスケットボール部

昨年度開催することができなかった定期戦。分散開催であっても、試合をできる喜びを胸に４月３日土曜日に下妻一高体育館にて男女ともに実施しました。結果は男子86―94、女子63―90と負けてしまいましたが、男女ともに実力以上の力を発揮し、よい試合を展開しました。この負けを糧に、技術面も精神面もさらなる成長を遂げるように努力を重ね、来年はリベンジを果たしたいと思います。

バドミントン部

５月８日に定期戦を行いました。結果は男子が１対２で惜しくも負けてしまいましたが、女子は２対１で勝つことができました。男女とも白熱した試合でした。コロナ渦で行われたため、声を出しての応援は出来ませんでしたが、全員が最後まで自信を持ってプレーすることが出来たと思います。

2021年度　大学入試合格状況

国公立大:北海道大１名、千葉大（薬）１名、筑波大10名、茨城大24名、茨城県立医療大５名他 91名が合格

私立大:早稲田11名、慶應大２名、上智大５名、東京理科大10名他、のべ655名が合格

国公立大学

大学名	合格者数	
	R2年度卒 ( )内過年度	R1年度卒 ( )内過年度
北見工業大	5	
北海道大	1	
秋田大		1
岩手大		1（1）
山形大	2	1（1）
福島大	4	
茨城大	26（2）	15（1）
筑波大	10（1）	5
宇都宮大	2	1
埼玉大	9	2（1）
東京学芸大	1	
電気通信大	1	
千葉大	2	
新潟大		1
長岡科学技術大		1（1）
金沢大	2	
兵庫教育大	1	
山梨大		1
高知大	1	
鹿児島大		1（1）
琉球大		1
山形県立米沢栄養大	1	
会津大	1	2
茨城県立医療大	5	5
高崎経大		1
埼玉県立大	3	2
千葉県立保健医療大	1	
東京都立大	2	
横浜市立大		1
その他の国公立大	11	2
国公立大計	91（3）	44（6）

私立大学

大学名	合格者数	
	R2年度卒 ( )内過年度	R1年度卒 ( )内過年度
国際医療福祉大	12（1）	12
獨協大	13	20（3）
文教大	16	18（1）
神田外語大	4	5
青山学院大	3	5
学習院大	5	5（1）
北里大	2	
慶應義塾大	2	
國學院大	6（1）	1
駒澤大	8	3
芝浦工業大	10（1）	3
上智大	5（5）	1（1）
成蹊大	6（1）	5
成城大	2	5
専修大	10	2
大東文化大	3	4（1）
玉川大	1	4
中央大	12（2）	7
津田塾大		2
帝京大	10（3）	11（1）
東海大	8（1）	5（1）
東京家政大	13	10
東京電機大	29（5）	15（6）
東京都市大	1	5（2）
東京農業大	14	10
東京理科大	10（4）	3
東邦大	4	2
東洋大	45（4）	29（3）
日本大	50（3）	30（4）
日本女子大		2
法政大	14（3）	6

大学名	合格者数	
	R2年度卒 ( )内過年度	R1年度卒 ( )内過年度
明治大	15	12（2）
明治学院大	3（1）	5（1）
立教大	8（3）	15（3）
早稲田大	11（1）	1（1）
その他の私立大	300（6）	305（11）
私立大計	655（45）	568（42）

コロナ禍のもと実施された2021年度入試において、令和２年度卒業生は健闘しました。新入試制度改革により、大学入試が大きく変化しています。本校でも「主体的に自分の進路を考えられる生徒の育成」と「将来を見据えたキャリア教育」に取り組み、さらなる進学実績向上に向けて、進路指導を充実させていきます。

（進路指導主事
菅原　冬樹）